

「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）ハッカソン 2026」

募集要項

内閣府防災（防災デジタル・物資支援担当）

内閣府では、災害対応機関の間で災害対応に資する情報を迅速に集約・共有する枠組みである「防災デジタルプラットフォーム」の中核を担う新総合防災情報システム（SOBO-WEB）の運用を令和6年4月より開始しています。

加えて、国や地方自治体、指定公共機関などが共有すべき特に重要な情報を、「災害対応基本共有情報（EEI）」として令和5年に策定、情報の具体的な内容であるデータ属性を令和7年に策定・公表しており、本システムを中心に EEI を踏まえた情報流通を推進し、災害対応の高度化を図っているところです。

今回のハッカソンでは、防災アプリやサービスなどの新たなソリューション創出に向け、「EEI を活用した、行政・企業・住民を支える防災ソリューションの共創」をテーマに、行政機関、民間事業者、学術機関など、多様な立場から、創意工夫を凝らしたアイデアやソリューションを募集します。

本ハッカソンを通じて、EEI や SOBO-WEB の利活用に関する理解を深めるとともに、実践的かつ革新的な防災・減災ソリューションの創出を促進し、災害時における迅速な情報提供や意思決定支援の実現を目指します。

日本各地で災害が頻発・激甚化する中、一人でも多くの方の助けとなる提案が生まれることを期待しています。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

記

1. エントリー

令和8年7月3日（金）まで

2. 募集テーマ

○メインテーマ

「EEI を活用した、行政・企業・住民を支える防災ソリューションの共創」

○サブテーマ（サブテーマからいずれか1つ、もしくは複数を選択）

- ① 行政の防災課題の解決に向けたソリューションの提案
- ② 自組織の BCP に活かせるソリューションの提案

③ 住民の防災課題の解決に向けたソリューションの提案

アイデアの例につきましては、本要項の末尾に掲載しておりますのでご参照ください。昨年度はアイデアソンを実施しており、アイデアソン 2025 の様子につきましては以下内閣府ホームページからも確認が可能です。

https://www.bousai.go.jp/kyoiku/ideathon/ideathon_r7.html

なお、SOBO-WEB の参加者は、「総合防災情報システム利用規約」（令和 6 年 4 月 26 日内閣府防災）第 5 条に基づき、国の府省庁、地方公共団体及び指定公共機関となっているため、今回の募集に際して、上記以外の方に SOBO-WEB のアカウントを発行することはいたしかねます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3. 対象者

府省庁・自治体・指定公共機関・学術機関・民間事業者

※上記の対象者であれば応募の単位は問いません。

（応募者単独、部署等の組織単位のチーム、他機関との連携チーム等も可能）

4. 応募方法

○内容

【2.募集テーマ】に合致するアプリ、サービス、アイデア等のソリューションをご応募ください。

○応募時のファイル形式

応募方法の詳細及び各選考における応募時のファイル形式等の留意点については、「6. 選考プロセス」をご確認ください。

○応募するソリューションに用いるデータについて

今回のハッカソンでご提案いただくソリューションに用いるデータは EEI を想定しております。また EEI に含まれないデータ（センシングデータ・オープンデータ・統計データ・民間事業者等が独自に保有する情報 等）と EEI を組み合わせたデータでのソリューションのご提案も可能です。

現時点では EEI の情報項目までしか公開していないため、オープンデータとしてのご提供はできません。ソリューション提案時に用いる EEI のデータについては参加者自身にて作成いただくことを想定しております。

本ハッカソンをご検討いただく際に必要となる、災害対応基本共有情報 (EEI) の詳細は、別添及び以下をご参照下さい。

<https://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/dataplatform/pdf/jitsumu/r7/dai2kai/siry01.pdf>

5. スケジュール

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ① エントリー期間 | : 令和 8 年 7 月 3 日 (金) まで |
| ② エントリー審査 | : 令和 8 年 7 月 3 日 (金) まで随時 |
| ③ 一次選考提出 | : 令和 8 年 7 月 10 日 (金) まで |
| ④ 一次選考結果通知 (通過者のみ) | : 令和 8 年 7 月 17 日 (金) 頃 |
| ⑤ 二次選考提出 | : 令和 8 年 9 月 4 日 (金) まで |
| ⑥ 二次選考結果通知 (通過者のみ) | : 令和 8 年 9 月下旬頃 |
| ⑦ 最終選考 | : 10 月 17 日 (土) 12:30~14:00 |

会場:「ぼうさいこくたい 2026 in 鳥取」内のセッション
(エースバック未来中心 セミナールーム 3A)

当日は各チーム 5 分以内 (時間厳守) で発表をしていただきます。

受賞者決定・表彰式:最終選考のセッション内にて併せて実施

6. 選考プロセス

○エントリー審査

参加者は申込フォームに入力いただいた所属や氏名等を入力ください。
事務局にて入力内容を確認後、登録いただきましたメールアドレス宛に、受領確認メールをお送りします。1 週間程度経過しても受領確認メールが届かない場合、お手数ですが、連絡先までお問合せください。

エントリー審査では、参加者が本ハッカソンの「3. 対象者」に該当するかについて形式審査を行います。

エントリー審査通過者に対して事務局より随時連絡いたします。

○一次選考

エントリー審査通過者はメインテーマ及び選択したサブテーマに沿った提出資料 (ソリューションの提案内容) を作成して提出してください。

提出資料の送付先は事務局からエントリー審査通過者に対して連絡いたします。

一次選考では、事務局において応募内容が本募集要項に沿ったものとなっているか、【9.その他留意点】に反していないか等を確認いたします。

一次選考通過者に対しては事務局より連絡いたします。

尚、1チームあたり複数のソリューションの提案が可能です。

複数提出する場合は、提出資料を提案ごとに分けて提出ください。

○一次選考提出資料の留意点

提出資料については、以下の点にご留意ください。

①PowerPoint1枚程度で作成してください。

②応募タイトル、選択したサブテーマ、応募者の所属と氏名（又はチーム名）を必ずご記載ください。

○二次選考

一次選考通過者は以下の①～④の記載内容を踏まえて3分程度の動画を作成して提出してください。

動画の送付先は事務局から一次選考通過者に対して連絡いたします。

①一次選考通過者はソリューションを作成してください。

②ソリューション作成時に用いるデータについては「4.応募方法」の「応募するソリューションに用いるデータについて」をご確認ください。

③作成したソリューションを用いて、プレゼンテーションを収録して動画ファイルを提出してください。

（提出物は動画のみであり、ソリューションの提出は不要です）

④ソリューション及びソリューション作成時に用いるデータの作成が難しい場合、ソリューションの提案イメージがPowerPoint等で作成したアイデア資料に表現されていれば、アイデア資料のみでプレゼンテーション動画を作成いただき、提出いただくことも可能です。

二次選考では、事務局において【7.選考のポイント】に沿って審査をし、通過者に対して事務局より連絡いたします。

○二次選考提出資料の留意点

提出資料については、以下の点にご留意ください。

①動画ファイルの形式はWindowsで再生が可能な形式（MP4もしくはAVI）で作成し、送付をお願いします。

②動画ファイルの収録時間は3分程度としてください。

③動画ファイル名は応募タイトルを含む名称としてください。

○最終選考

二次選考において上位5～6チーム程度を選出し、二次選考通過者には、最終選考として、「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」内のセッションにてご発表いただき、審査員（有識者等）が「【7.選考のポイント】」に沿って審査を実施し、優秀者に防災担当大臣賞等を授与します。

一次選考の提出資料と二次選考でご提出いただいた動画を組み合わせて5分以内でプレゼンテーションを実施下さい。（5分以内厳守）

○最終選考のプレゼンテーション資料のファイル形式

最終選考で使用するプレゼンテーション資料については、以下の点にご留意ください。

- ①一次選考にてPowerPointで作成した提出資料に二次選考で作成した動画を埋め込み、1つのファイルとして最終選考のプレゼンテーション資料を作成してください。
- ②最終選考のプレゼンテーション資料を作成する上で、一次選考で提出した提出資料および二次選考で提出した動画については5分間以内の発表ができるよう、再編集いただきまして構いません。

7. 選考のポイント

二次選考と最終選考については、下記のポイントに沿って実施します。なお、サブテーマはいずれか1つのテーマを選択、もしくは複数選択が可能です。選択したサブテーマの内容によって選考における有利・不利が生じることはありません。

①有効性

- ・アイデアがもたらす効果やインパクトはあるか
- ・災害対応の効率化や迅速化にどの程度寄与するか

②創造性・独創性

- ・アイデアに創造性や独創性はあるか
- ・既存の方法にとらわれない、新しい視点やアプローチはあるか

③持続性・発展性

- ・提案されたアイデアが長期的に持続可能であるか

- ・他の利用者への展開や他の災害対応の場面への応用が期待されるか
- ④実現可能性
- ・提案されたアイデアが現実的に実行可能であるか
 - ・コストやリソースの観点から、実現性があるか

8. 表彰

最終選考における優秀者には、防災担当大臣賞（最優秀賞、優秀賞等）の表彰を予定しています。

9. その他留意点

○応募作品の著作権等について

- ・情報の法的保護については、応募者の責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない範囲で応募をお願いします。
- ・内閣府が、本ハッカソンの開催目的達成のために応募作品や当日の発表状況等を撮影した写真等を内閣府ホームページ等で公表する事に同意いただきます。

○アイデアについて

- ・本ハッカソンにおいて参加者が提供したアイデア（コンセプト、ノウハウ等を含む。）はパブリックドメインとして、他の参加者を含めた第三者が、無償で自由に利用することに同意いただきます。

○次の事項に該当する、又はその恐れがある応募作品は失格とさせていただきます。

- ① 法令等に違反するもの
- ② 公序良俗に反するもの
- ③ 公共の福祉に反するもの
- ④ 企業名や特定の商品などの広告宣伝を目的とするもの
- ⑤ 政治活動又は宗教活動に関するもの
- ⑥ 個人、企業、団体等を中傷したりプライバシーを侵害したりするもの
- ⑦ 不適切な内容・表現又は不快感を与える内容・表現が含まれているもの
- ⑧ その他本ハッカソンの趣旨から、内閣府が不適当と認めるもの

10. 連絡先

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当）付
本件責任者： 大江 ／ 窓口： 石塚、大矢、三中
TEL：03-3503-2231（直通）

<昨年度のアイデアソン 2025 における受賞例>

※画像はイメージです

防災担当大臣賞 最優秀賞（1件）

- ・災害時の水／ガス停止エリアの特定
（発表資料の掲載はございません）

防災担当大臣賞 優秀賞（3件）



東京ガスネットワーク株式会社 東部事業部

AI×リアルタイムデータで実現する被害軽減と迅速復旧

発災初動期に火災・気象情報等の情報を活用してAIによる延焼範囲シミュレーションを実施し、各機関で連携した効果的な延焼抑制を実現
また復旧期には国や企業間で復旧情報を共有し、ライフライン復旧の円滑化を実現



小樽市 総務部災害対策室 橋本 義伸

災害対策本部の状況判断に資する SOBO-WEB の活用案

気象情報・ハザードマップ・画像データによる土砂災害リスクの高い地域への避難指示判断や、避難指示発令区域情報と通信障害・停電情報等による広報車の最適経路検討等、災害対策本部の的確な状況判断を実現



一般社団法人 AZ-COM ネットワーク AZ-COM 桃太郎チーム
援物資輸送の効率化

道路被害情報や輸送拠点等の情報と、支援物資輸送車両の情報を掛け合わせ、AIを活用することで、車両マッチング等による物資輸送の効率化を実現



以 上